

# 林

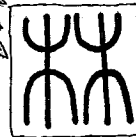
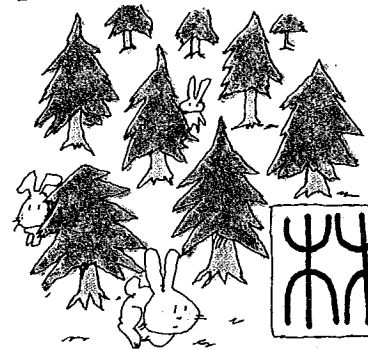
リン

はやし

8画  
十  
オ  
木  
材  
材  
林

〔1年〕

なりたち 木と木との会意字で、「木の並び立つはやし」を表した字。木や竹の「はやし」から転じて、「物や人の多く集まっている所」の意味に用いる。



## 林森

# 森

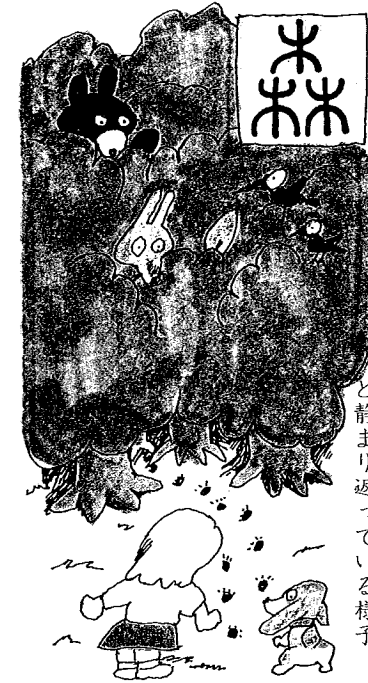
シン

もり

12画  
七  
オ  
木  
木  
木  
木  
森

〔1年〕

なりたち 三つの木で、木が多く茂っている「もり」を表した会意字。転じて、「物の多い」意味に用いる。また、「森は静か」・「静か」の意に用いる。



いみじゆく

▼林 林間：林の中。例 林間学校（夏休みに、子供達が山や高原に集まり体を鍛えたり、集団生活をする事。）

▼森 林野：森林と原野。例 林野庁（森林や原野の保護・管理をする官庁。）

▼静か 密林：密生した林。特に熱帯のジャングル。防風林：強風を遮り防ぐために作られた林。林立：林の木のように、たくさん立ち並んでいる様子。▼物事の集まり。芸林：文芸家の社会。▼よみかた 林道・原始林・植林・農林・松林・緑林

# 本

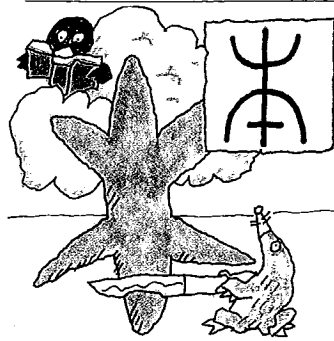
ホン

もと

5画  
一  
十  
オ  
木  
本

〔1年〕

なりたち 木という字の根本の部分に印を付けて「根本」という意味を表した指事字。「根本」。転じて、広く物事の「基本（もと）」の意味に用いる。また、人間にとって根のよう大切な「書物」のこと。



いみじゆく

▼もと。物事の根本。基本：物事の大本。土台。本末：本と末。大事な事とそうでないこと。例 本末転倒

▼基づく所。本拠：根本の拠り所。本籍：その人の戸籍の所在地。▼もともと備わっている。本能：動物が生まれながらに持っている性質や能力。▼主な。中心となる。本業：本来の職業。▼正しい。本名：本当の名前。▼この今、問題にしているもの。本人：その人。当人。▼書き物。書物。▼写本：手で本を書き写すこと。また、書き写した本。▼ものを数えることば。例 鉛筆一本・一本勝負

## 本末

# 末

マツ・バツ

すえ

5画  
一  
二  
キ  
才  
末

〔4年〕

なりたち 木という字の梢（こぎすえ）（木末）の部分に印を付けて、「木の末」という意味を表した指事字。「梢」。転じて、広く物事の「末端（すえ）」の意味に用いる。また、「つまらない・卑しい・細かい」の意味に用いる。



いみじゆく

▼末。末端：①端。先。②中心から最も遠い部分。用 例 組織の末端まで浸透する。▼後の方。最後。▼末世：①仏教で、仏法が衰えた時代。②道徳や秩序の乱れた世の中。

▼末。終末：物事の終わり。例 十九世紀末

▼末。死にぎわ。末席：末の方の座席。下座。▼本から分かれた、後の方。末流：①川の下流。②子孫。

▼つまらない。重要でない。粗末：上等でないこと。▼細かい。粉末：細かい粉にした物。▼「さんこう」「末子」「末弟」などは、二通りの読み方をする。